



平成24年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年9月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社くらコーポレーション
コード番号 2695 URL <http://www.kura-corporo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 久宗 裕行

TEL 072-368-6211

四半期報告書提出予定日 平成24年9月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第3四半期の業績(平成23年11月1日～平成24年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第3四半期	58,651	5.4	2,737	21.8	2,936	13.5	1,467	28.3
23年10月期第3四半期	55,639	6.5	2,247	△39.5	2,586	△34.0	1,144	△48.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第3四半期	70.90	—
23年10月期第3四半期	55.27	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第3四半期	32,590	58.6	19,108	58.6		
23年10月期	30,630	58.4	17,889	58.4		

(参考) 自己資本 24年10月期第3四半期 19,108百万円 23年10月期 17,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	—	0.00	—	12.00	12.00
24年10月期	—	0.00	—		
24年10月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年10月期の業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	7.5	4,200	43.0	4,500	26.3	2,250	49.0	108.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年10月期3Q	20,699,800 株	23年10月期	20,699,800 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

24年10月期3Q	— 株	23年10月期	— 株
-----------	-----	---------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年10月期3Q	20,699,800 株	23年10月期3Q	20,699,800 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(3) 追加情報	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成23年11月1日～平成24年7月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要とエコカー減税等の政策効果に支えられ緩やかな回復傾向が見られるものの、長引く円高やデフレの影響、さらに、欧州債務危機等海外景気の下振れリスクなどにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属する外食産業におきましては、消費者の外食支出は持ち直しの動きがあるものの、顧客獲得のための外食企業間の競争も激しさを増し、またコンビニをはじめとする消費者の中食・内食志向の高まりによる影響を受け、当社を取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと、当社は、安全・安心で美味しいものを求めるお客様のニーズは、当社の掲げる企業理念“食の戦前回帰”にマッチするものであると認識し、お客様来店の動機付けを図る様々な取り組みを行ってまいりました。

商品開発面では、7月にテレビの料理番組等で人気の川越シェフとのコラボレーションを実現し、オリジナル商品の開発、提供により注目を集めました。

販売促進面においては、330万人を超える携帯会員向け販促メールを毎月発信し、人気第1位・2位の「まぐろ」、「サーモン」の特上ネタを提供するフェアの告知を行うとともにクーポンを発行しご好評をいただきました。また、ゴールデンウィークにはお持ち帰り寿司販売強化策として、ご予約いただいたお客様に「イナズマイレブン」グッズをプレゼントし、さらに、6月に実施いたしました「極上とろ祭り」の際には、ポケモングッズをビックラポンの景品として提供いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は、新規出店効果により前年同期比105.4%の実績を確保できましたが、既存店売上については、前年同期に比べ休日が少ないことや、記録的な大雨等天候不順の影響を受け、既存店来店客数がマイナス1.5ポイントとなり、低価格志向を顕著にする消費者動向を反映して、既存店客単価がマイナス1.8ポイントとなったため、既存店売上は前年同期比3.2ポイントのマイナスとなりました。

また、店舗開発につきましては、2月大分県、3月高知県に続き、6月には徳島県へも初進出を果たしたのをはじめ、西日本地区で12店舗、東日本地区で5店舗の計17店舗を新規出店いたしました結果、当第3四半期累計期間末の店舗数は全て直営で302店舗(「無添蔵」4店舗を含む。)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高586億51百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益27億37百万円(同21.8%増)、経常利益29億36百万円(同13.5%増)、四半期純利益は14億67百万円(同28.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末の総資産額は325億90百万円となり、前事業年度末と比較して19億59百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が1億83百万円、固定資産が14億63百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、134億81百万円と前事業年度末と比較して7億39百万円の増加となりました。これは、主に、買掛金が1億70百万円増加した他、未払法人税等やリース債務が増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金の増加により191億8百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年10月期の業績予想につきましては、平成24年5月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載された内容から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年10月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,144,898	4,328,628
原材料及び貯蔵品	347,501	326,181
その他	756,020	1,089,206
流動資産合計	5,248,420	5,744,015
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,014,377	10,592,166
その他(純額)	6,371,264	6,765,642
有形固定資産合計	16,385,642	17,357,809
無形固定資産		
投資その他の資産	902,226	1,062,799
関係会社株式	407,065	407,065
長期貸付金	3,230,469	3,333,136
差入保証金	3,286,749	3,462,198
その他	1,170,303	1,223,068
投資その他の資産合計	8,094,586	8,425,467
固定資産合計	25,382,456	26,846,076
資産合計	30,630,876	32,590,092
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,919,465	3,089,512
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払金	2,650,595	2,717,044
未払法人税等	499,550	586,496
その他	1,257,446	1,692,843
流動負債合計	7,727,058	8,485,897
固定負債		
長期借入金	1,000,000	700,000
リース債務	2,751,225	2,977,797
資産除去債務	941,407	1,019,117
その他	321,935	298,744
固定負債合計	5,014,567	4,995,659
負債合計	12,741,626	13,481,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	13,549,536	14,768,821
株主資本合計	17,889,250	19,108,535
純資産合計	17,889,250	19,108,535
負債純資産合計	30,630,876	32,590,092

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)
売上高	55,639,016	58,651,765
売上原価	26,045,693	27,019,001
売上総利益	29,593,323	31,632,764
販売費及び一般管理費	27,345,354	28,895,009
営業利益	2,247,968	2,737,755
営業外収益		
受取利息	45,872	50,027
受取手数料	187,465	176,541
受取保険金	46,716	—
物販収入	159,219	50,978
雑収入	59,197	22,213
営業外収益合計	498,470	299,760
営業外費用		
支払利息	53,403	60,056
為替差損	5,697	12,720
物販原価	92,137	20,867
雑損失	8,346	7,564
営業外費用合計	159,585	101,208
経常利益	2,586,854	2,936,307
特別損失		
固定資産除却損	14,611	12,803
店舗閉鎖損失	20,466	32,701
減損損失	100,158	140,737
災害による損失	50,231	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	311,193	—
特別損失合計	496,661	186,241
税引前四半期純利益	2,090,192	2,750,065
法人税、住民税及び事業税	1,000,000	1,256,000
法人税等調整額	△53,886	26,383
法人税等合計	946,113	1,282,383
四半期純利益	1,144,078	1,467,682

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。